

戦略構築から発注まで

米国株オプション ストラテジー取引

アプリ操作ガイド



CONTENTS

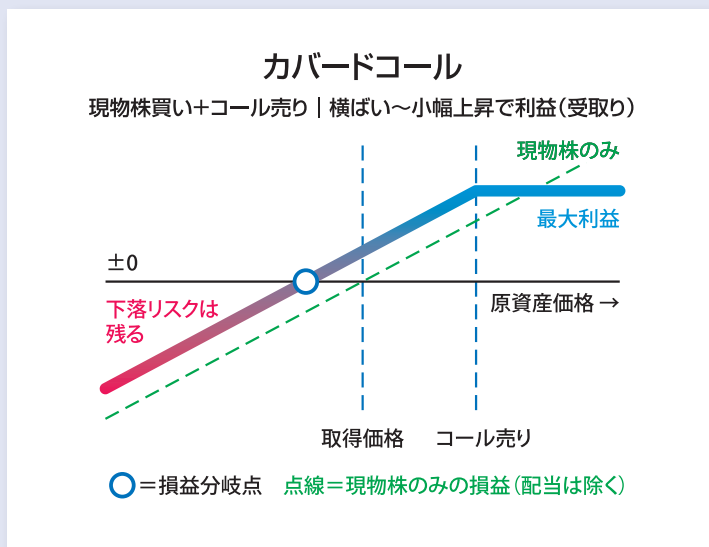
11 種類のストラテジー解説

1	カバードコール	1
2	バーティカル	4
3	カレンダー	8
4	ダイアゴナル	10
5	ストラドル	12
6	スラングル	14
7	カラー	16
8	コンドル	18
9	アイアンコンドル	20
10	バタフライ	22
11	アイアンバタフライ	24
必要証拠金		26
ロールオーバー		27
Moneybull について		28
Moneybull の注意点		29
ウィブル証券でオプション取引をするメリット		30
よくあるご質問と回答		31

カバードコール

■ストラテジーの概要と狙い

現物株を保有しながら、同じ銘柄のコール・オプションを売る戦略を、カバードコールといいます。コール・オプションを売ると株価が急騰した場合に損失が拡大するリスクがありますが、この戦略では現物株を保有しているので、オプションの買い手に権利行使されたとしても現物株を引き渡せるため、「コール」売りのリスクが「カバー」されます。これが、カバードコール（Covered Call）という名称の由来です。



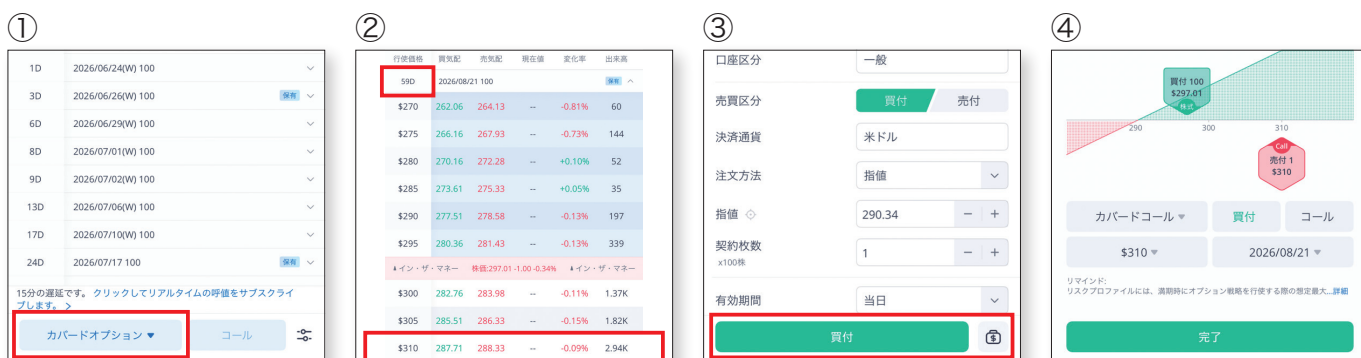
カバードコールの満期日損益。現物株の買いに、コールの売りを組み合わせ、約定時にプレミアムを受け取る。株価が上昇してもコール売りの権利行使価格で利益が頭打ちとなる一方、受け取ったプレミアムの分損益分岐点が下がり、株価が動かなくてもプレミアム収入が利益となる。緑色の点線は現物株のみを保有した場合の損益で、下落リスクは現物株と同様に残る。

カバードコールではコール売りによるプレミアム収入と、現物株の一定範囲内の株価上昇益、そして配当が出ている株であれば配当収入という3つの利益を同時に狙うことができます。

株価が横ばい、もしくは小幅な値動きに留まると見込んだ場合に採用されることが多く、仮に満期日まで株価がほとんど動かなかったとしても、コール売りのプレミアム収入による利益を狙えます。

ウィブル証券アプリでは現物株を保有していない状態から「現物株買い+コール売り」の同時発注に加えて、現物株を保有している状態から「コール売り」を追加してストラテジーを構築することができます。

■カバードコールの同時発注方法



オプションチェーンの画面で「シングルオプション」になっている場合はタップし、ストラテジー一覧の画面から「カバードオプション」を選択します (①)。再びオプションチェーンの画面で、コール・オプションの売建てをする際の満期日を「○ ○ D」から選び、権利行使価格を選択し気配値をタップします (②)。次の画面でこれから取引する内容を確認し、画面下部の「買付」をタップします (③)。次の画面で取引内容を確認し、「注文する」をタップして完了です。なお、③の上部に「カバードオプション」と表示されている部分をタップすると、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます (④)。

■カバードコールのレッグイン方法



すでに保有している現物株に同銘柄のコール・オプション売りを加えることにより、カバードコールを組成することができます。このように既存のポジションに新たなオプションを加えることを、レッグインといいます。オプション口座の資産一覧画面から、オプションを追加(レッグイン)したい現物株を選び (⑤)、詳細画面を表示します。画面中央部の「現在のポジションに基づいて戦略を立ててみる。」(⑥)、もしくは画面右下の3点アイコンをタップし、「ストラテジーの構築」をタップします (⑦)。オプションチェーン画面で満期日を選択 (⑧)、次の画面で権利行使価格を選択します (⑨)。次の画面で「売付」をタップし、取引内容を確認した上で「注文する」をタップします (⑩)。

■カバードコールの決済方法



オプション口座の資産一覧画面から決済したいポジションをタップし、詳細画面を開きます (⑪)。

ポジション全体を決済する場合は画面下部の「決済売」をタップすると (⑫)、「決済売」と「ローリングオーダの作成」のボタンが表示されるので、上にある「決済売」をタップします (⑬-1)。

カバードコールが組まれているポジションのうちコール売りだけを決済 (レグアウト) する場合は、詳細画面のレグアウトをタップします (⑬-2)。

■カバードコールにプット買いを追加してカラーを組成する方法



カバードコールのポジションにプット・オプションの買いを追加することで、株価下落時の損失を限定できるカラーの組成が可能です。

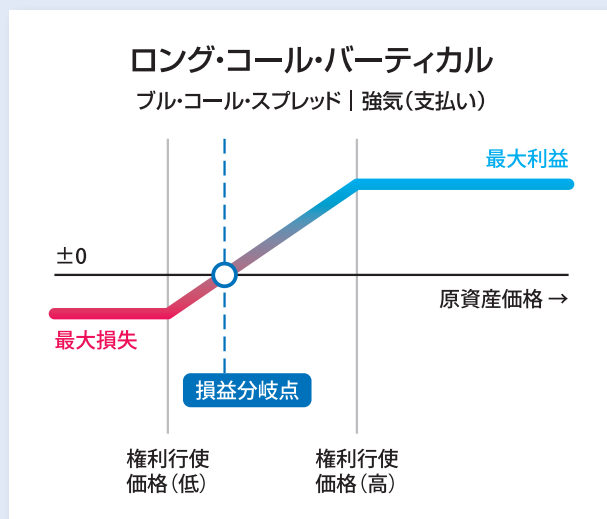
ポジションの詳細画面下部にある 3 点アイコンをタップし、「ストラテジーの構築」をタップします (⑭)。次の画面で「買付、Put でカラーを作成」を選択して、カバードコールをカラーに組み替えます (⑮)。

バーティカル

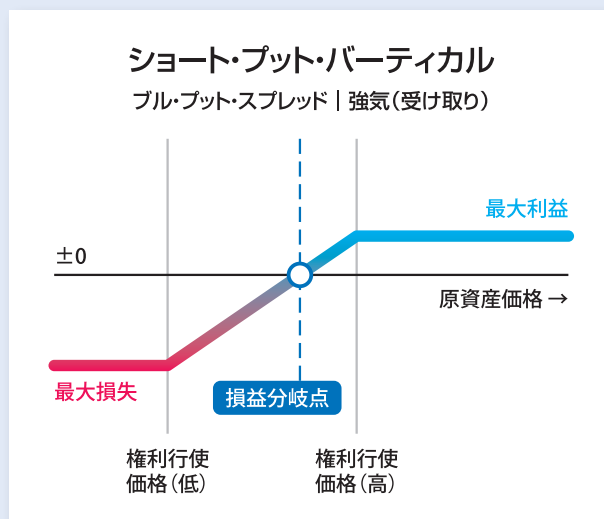
■ストラテジーの概要と狙い

同じ満期日・同じオプションタイプ（コールまたはプット）で、権利行使価格が異なる複数のオプションを、買い建てと売り建てで同時に組み合わせる戦略を、バーティカルといいます。

方向感に沿って原資産が動けば利益が出る一方、想定と逆に動いた場合の損失も限定されるため、リスクとリターンの両方を抑えながら相場観をポジションに反映できる戦略です。



ロング・コール・バーティカルの満期日損益。権利行使価格（低）のコール買いと、権利行使価格（高）のコール売りを組み合わせ、約定時にプレミアム差額を支払う。原資産価格が上昇するほど利益が伸び、権利行使価格（高）を超えた時点で最大利益に達する。



ショート・プット・バーティカルの満期日損益。権利行使価格（高）のプット売り（と（低）のプット買い）を組み合わせ、約定時にプレミアム差額を受け取る。原資産価格が権利行使価格（高）以上で推移すれば、受け取ったプレミアム差額がそのまま最大利益となる。

ここでは、原資産の株価が上昇すると予想する場合に有効なバーティカルの戦略として、ロング・コール・バーティカルとショート・プット・バーティカルの2種類の操作方法を紹介します。どちらも強気の相場観を表現する戦略ですが、ロング・コール・バーティカルは約定時にプレミアム差額の支払いが発生する戦略、ショート・プット・バーティカルは約定時にプレミアム差額の受け取りが発生する戦略、という違いがあります。

ロング・コール・バーティカルは、権利行使価格が低いコール・オプションを買い、権利行使価格が高いコール・オプションを売る戦略です。買いにより支払うプレミアムと売りにより受け取るプレミアムの差額が、約定時に支払いとして発生します。

ショート・プット・バーティカルは、権利行使価格が高いプット・オプションを売り、権利行使価格が低いプット・オプションを買う戦略です。売りにより受け取るプレミアムと買いにより支払うプレミアムの差額を、約定時に受け取ることができます。

なお、ロング・コール・バーティカルは想定通り株価が上昇したときに大きく利益を伸ばしやすく、ショート・プット・バーティカルは株価が上昇しなくても横ばいで推移すれば利益を狙えるという特徴があります。

■ロング・コール・バーティカルが発注方法

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦-1

⑦-2

⑧

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし (①)、ストラテジー画面から「バーティカル」を選択 (②)、詳細をオンにし (③)、下段の「完了」をタップします。バーティカル・ストラテジーでは満期日が同じオプションの売り建てと買い建てを同時に行います。2つのオプションの権利行使価格にどれだけの差を持たせるかを設定するには、「自動」ボタンをタップし (④)、権利行使価格の幅を選択します (⑤)。

オプションチェーンの画面には権利行使価格の順に発注できるオプションが表示されるので、発注したい価格を選びます (⑥)。ここに表示されている気配値は、買いと売りの差額です (⑥)。

気配値をタップすると、発注画面になります。発注される2つのオプションが表示されるので、発注内容を確認します。ここで「編集」をタップすると、権利行使価格を変更することができます (⑦-1)。

また、「バーティカル」をタップすると、この発注の損益シミュレーションなど詳細情報を確認できます。

これらの内容を確認したら「買付」をタップ (⑦-2)、次の画面で最終的な発注内容を確認の上、「注文する」をタップします (⑧)。

■ショート・プット・バーティカルの発注方法

⑨

2026/05/20(W) 100	コール	1D	プット	ヘ
42	23.75 21.05	\$275	0.03 0.04	0.0
57	21.45 19.05	\$277.5	0.03 0.06	0.0
10	18.75 16.35	\$280	0.04 0.06	0.0
72	15.75 14.35	\$282.5	0.06 0.07	0.0
70	13.35 12.25	\$285	0.10 0.11	0.1
5	11.30 10.15	\$287.5	0.16 0.18	0.1

15分の遅延です。クリックしてリアルタイムの呼値をサブスクライブします。>

シングルオプション ▼ 両方 ▼

⑩

行使価格	買気配	売気配	現在値	変化率	出来高
1D	2026/05/20(W) 100				コール
\$275	21.05	23.75	21.42	-15.80%	20

ストラテジー 詳細

シングルオプション カバードオプション ストラドル

ストラグル **バーティカル** バタフライ

コンドル カラー アイアンバタフライ

アイアンコンドル カレンダー ダイアゴナル

⑪

ストラテジー	詳細
シングルオプション	カバードオプション
ストラグル	バーティカル
コンドル	カラー
アイアンコンドル	カレンダー
	ダイアゴナル

バーティカルとは何ですか?

バーティカル・ストラテジーは、オプションのタイプ(プットまたはコール)、満期日は同じで、かつ、権利行使価格が異なる複数のオプションを同時に売買する取引のことです。

詳細 >

⑫

2026/05/20	2.80	4.00	110.40%	126
295/305	4.60	5.85	--	+21.62%
300/310	4.95	6.70	--	+48.02%
305/315	5.05	8.30	--	+38.46%
310/320	6.30	9.05	--	-5.37%
315/325	6.10	10.40	--	-41.01%
320/330	6.40	10.55	--	-3.37%

15分の遅延です。クリックしてリアルタイムの呼値をサブスクライブします。>

バーティカル ▼ プット ▼ 10.0 ▼

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし (⑨)、ストラテジー画面から「バーティカル」を選択 (⑩)、詳細をオンにし (⑪)、下段の「完了」をタップします。

ロング・コール・バーティカルと同じ手順でオプション同士の権利行使価格差を設定し (⑫)、取引するオプションを「コール」から「プット」に切り替えます (⑫)。

⑬ -1

AAPL	\$280/290 2026/07/17 Put 100	買気配	売気配	仲値
編集	買付 1 AAPL \$280	4.25	4.40	4.33
編集	売付 1 AAPL \$290	6.90	7.20	7.05

仲値: 2.73 +0.20 +7.71% 1

買気配 51 2.50 2.95 24 売気配

AAPL 価格 297.84 -2.39 -0.80%

口座区分 一般

⑬ -2

口座区分	一般
売買区分	買付 売付
決済通貨	米ドル
注文方法	指値
指値	2.73
契約枚数	1
有効期間	当日

売付

⑭

2026/07/17 Put 100	買付 1
AAPL \$290	2026/07/17 Put 100
指値	\$2.73
積算約定金(受取)	\$268.48
積算手数料	\$4.52
有効期間	当日

ブル・プット・スプレッド (クレジット・プット・スプレッド) ストラテジーを作成しています。最大利益は\$273.00であり、このポジションで受け取ったプレミアム額です。満期時に株価が\$290.00を上回っていれば最大利益が実現します。最大損失は\$727.00で、満期時に株価が\$280.00以下の場合に発生します。満期における損益分岐点は\$287.27です。

注文する

発注したい権利行使価格を選び、気配値をタップすると、次の画面で発注予定のオプションが表示されます (⑬ -1)。

これらの内容を確認し、「売付」をタップして売買区分を切り替えます (⑬ -2)。

一番下の「売付」をタップし (⑬ -2)、次の画面で内容を確認した上で「注文する」をタップします (⑭)。

■ 決済方法【同時決済】



バーティカル戦略で保有している2つのオプションを同時決済する場合は、オプション口座の資産画面で決済したいオプションをタップします (⑮)。

バーティカルとして紐づけられている2つのオプションがレッグ構成の欄に表示されます (⑯ - 1)。この内容を確認し、左下にある「決済売」をタップします。この部分をタップするとさらに2つのボタンが表示されるので、上に表示される「決済売」をタップします (⑯ - 2)。

次の画面で決済取引の内容を確認した上で、一番下の「売付」をタップします (⑰)。

■ 決済方法【レッグアウト】



レッグアウトとは、ストラテジーが組まれているオプションのうち、一部のみ決済することです。ここでは、バーティカル・ストラテジーとして保有しているオプションのうち、ショート（売り）のオプションだけを決済する手順を解説します。オプション口座の資産画面で、バーティカルとして紐づけられているポジションのうち、一部だけ決済したいオプションをタップします (⑱)。

一部決済をしたい個別のオプションの右側に「レッグアウト」と表示されているのを確認してタップ (⑲)、次の画面で内容を確認して「買付」をタップします (㉔)。なお、確認画面では上部に「バーティカルのレッグを閉じようとしています。」という表示もあるため、ここでもレッグアウトの操作をしていることを確認できます。

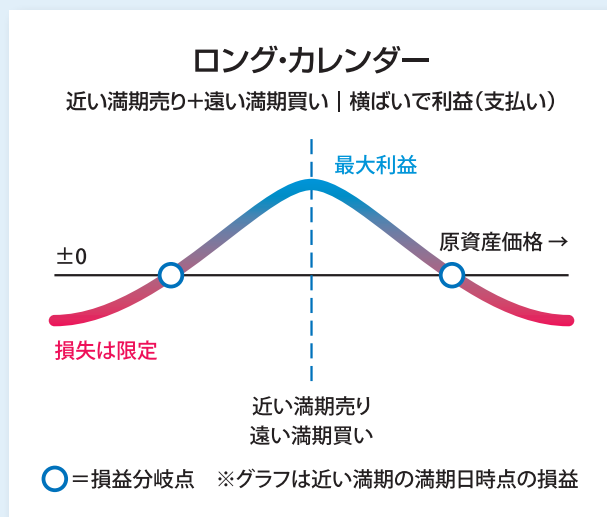
カレンダー

■ストラテジーの概要と狙い

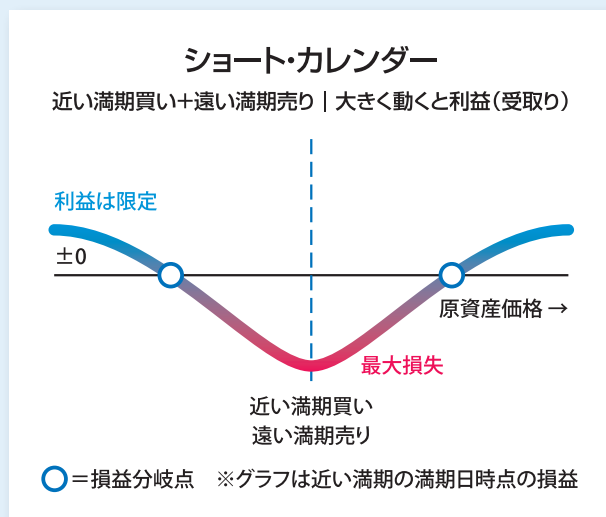
権利行使価格が同じで満期日が異なる2つのオプションを同時に取引する戦略を、カレンダーといいます。「満期日が近いオプションの売り+満期日が遠いオプションの買い」もしくは「満期日が近いオプションの買い+満期日が遠いオプションの売り」で組み合わせるのが一般的です。

オプションの価値には時間価値が含まれ、満期に近づくほど減少していきます。これをタイムディケイ（時間的減衰）と呼びます。満期日が近いオプションほど時間価値の減少が速く、満期日が遠いオプションは緩やかに減少するため、両者に差が生まれます。

満期日まで株価が横ばいもしくは小幅な値動きになると見込んだ場合に有効なロング・カレンダーと、満期日までに株価が大きく動く見込んだ場合に有効なショート・カレンダーがあります。



ロング・カレンダーの損益（近い満期の満期日時点）。同じ権利行使価格で、満期日が近いオプションを売り、満期日が遠いオプションを買う。近い満期のオプションは時間価値の減少が速いため、株価が権利行使価格付近にとどまると、売ったオプションが先に価値を失って利益が生まれる。株価が上下どちらかに大きく動く損失となるが、買ったオプションがあるため損失は限定される。



ショート・カレンダーの損益（近い満期の満期日時点）。同じ権利行使価格で、満期日が近いオプションを買い、満期日が遠いオプションを売る。株価が権利行使価格付近にとどまると最大損失となるが、上下どちらかに大きく動く利益が生まれる。損益はロング・カレンダーの上下を反転させた形になる。

ロング・カレンダーでは、満期日が近いオプションの売りと満期日が遠いオプションの買いの組み合わせです。

ショート・カレンダーでは、満期日が近いオプションの買いと満期日が遠いオプションの売りの組み合わせとなります。

ロング、ショートのいずれであってもカレンダー・ストラテジーは2つのオプションの時間価値の差が重要な意味を持つため、発注時には投資の戦略に基づいて満期日の差を設定します。

■ロング・カレンダーの発注方法

① -1

チャート

オプション

ニュース

フィード

分析

オプションチェーン

オプション統計

確率分析

行使価格	買気配	売気配	現在値	変化率	出来高
1D	2026/05/20(W) 100	2026/05/22(W) 100			▼
3D	2026/05/22(W) 100	2026/05/26(W) 100			▼
7D	2026/05/26(W) 100	2026/05/27(W) 100			
8D	2026/05/27(W) 100	2026/05/29(W) 100			▼
10D	2026/05/29(W) 100	2026/06/05(W) 100			▼
	2026/06/05(W) 100				

① -2

30	2026/05/22(W) 100	2026/05/26(W) 100	
70	2026/05/26(W) 100	2026/05/27(W) 100	
80	2026/05/27(W) 100	2026/05/29(W) 100	
100	2026/05/29(W) 100	2026/06/05(W) 100	
170	2026/06/05(W) 100	2026/06/12(W) 100	
240	2026/06/12(W) 100	2026/06/18(W) 100	
300	2026/06/18(W) 100		

②

満了期限の幅
+1 満了期限
+2 満了期限
+3 満了期限
+4 満了期限
+5 満了期限
+6 満了期限

③

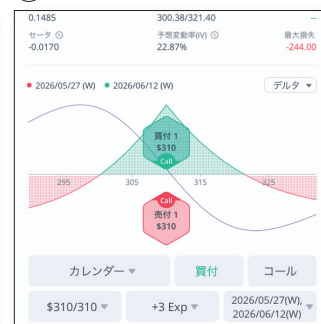
280/280	0.05	4.25	--	+95.07%	22
285/285	1.25	4.25	--	+10.05%	10
290/290	1.90	4.90	--	+217.14%	2
295/295	3.10	4.55	--	-6.95%	63
300/300	3.25	3.96	--	-4.00%	258
305/305	2.85	3.43	--	-13.04%	1.03K
310/310	2.23	2.66	--	-16.79%	51
315/315	1.35	1.82	--	-30.36%	15

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし、ストラテジー画面から「カレンダー」を選択、詳細をオンにして、下段の「完了」をタップします。ロング・カレンダーでは権利行使価格が同じで満期日の近いオプションの売りと満期日が遠いオプションの買いを同時に発注します。「○○D」で満期日を選び、その右の欄に表示されている満期日の組み合わせを選びます（① -1）。カレンダーでは満期日の差が重要な意味を持つため、画面下部の赤い囲みを入れている部分で満期日の差を設定します（① -2）、（②）。権利行使価格を選択したら（③）、次の画面でこれから取引する2つのオプションの組み合わせを確認し、「買付」をタップします（④）。なお、画面上部にある「カレンダー」の部分をつまみ、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます（⑤）。

④

口座区分	一般
売買区分	買付 売付
決済通貨	米ドル
注文方法	指値
指値	2.44
契約枚数	1
有効期間	当日
買付	

⑤



■ロング・カレンダーの決済方法

⑥ -1

保有銘柄	保有比率①	伸縮
買気配	55	2.34
売気配	5	2.58
AAPL 価格	298.36	-0.61 -0.20%
レグ構成		
銘柄	売買区分	約定価格/金額
AAPL \$310	ロング	3.02
2026/06/12 (W) Call 100		302.26
AAPL \$310	ショート	0.65
2026/05/27 (W) Call 100		64.74
デルタ	0.167	損益分岐点
セータ	-0.006	予想変動率(%)
		300.54, 321.22
		21.84%

⑥ -2

銘柄	売買区分	約定価格/金額
AAPL \$310	ロング	3.02
2026/06/12 (W) Call 100		302.26
AAPL \$310	ショート	0.65
2026/05/27 (W) Call 100		64.74
デルタ	0.167	損益分岐点
セータ	-0.006	予想変動率(%)
		300.54, 321.22
		21.84%

⑥ -3

銘柄	売買区分	約定価格/金額
AAPL \$310	ロング	3.02
2026/06/12 (W) Call 100		302.26
AAPL \$310	ショート	0.65
2026/05/27 (W) Call 100		64.74
デルタ	0.167	損益分岐点
セータ	-0.006	予想変動率(%)
		300.54, 321.22
		21.84%

⑦

銘柄	売買区分	約定価格/金額
AAPL \$310	ロング	3.02
2026/06/12 (W) Call 100		302.26
AAPL \$310	ショート	0.65
2026/05/27 (W) Call 100		64.74
デルタ	0.167	損益分岐点
セータ	-0.006	予想変動率(%)
		300.54, 321.22
		21.84%

オプション口座の資産一覧画面から決済したいポジションをタップし、詳細画面を開きます（⑥ -1）。ストラテジーを構成するオプションをすべて決済する場合は「決済売」をタップします（⑥ -2）。ウィブル証券アプリでは、1つのオプションだけを決済するレグアウトに加えて、1つのオプションだけをロールすることも可能です。ロールとは、保有しているオプションを一旦決済して再び保有し直すことです。ロールする場合は「ローリングオーダの作成」をタップし（⑥ -3）、次の画面でロールしたいレグ（オプション）を選び、「続行」をタップします（⑦）。

■ストラテジーの概要と狙い

満期日と権利行使価格がいずれも異なるオプションを組み合わせる戦略を、ダイアゴナルといいます。ダイアゴナルには「斜め」という意味があり、満期日と権利行使価格の両方が異なるため、時系列と価格で並べると斜めになることからそう呼ばれています。

満期日が異なるオプションで構成することや、時間価値の減少を活かす点ではカレンダーと似ていますが、権利行使価格が同じであるカレンダーに対して、ダイアゴナルは権利行使価格も異なります。ダイアゴナルでは、オプションの組み合わせ方（コール・プットの別や権利行使価格の高低）によって、強気・弱気の相場観を、カレンダーよりも明確に反映することができます。

	相場観	オプションの構成
ロング・ダイアゴナル・ベア・コール・スプレッド	短期的には大きな値動きを想定せず、長期的には下落	満期日が近いコール売り 満期日が遠く権利行使価格がより高いコール買い
ロング・ダイアゴナル・ブル・プット・スプレッド	短期的には大きな値動きを想定せず、長期的には上昇	満期日が近いプット売り 満期日が遠く権利行使価格がより低いプット買い
ロング・ダイアゴナル・ブル・コール・スプレッド	短期的には大きな値動きを想定せず、長期的には上昇	満期日が近いコール売り 満期日が遠く権利行使価格がより低いコール買い
ロング・ダイアゴナル・ベア・プット・スプレッド	短期的には大きな値動きを想定せず、長期的には下落	満期日が近いプット売り 満期日が遠く権利行使価格がより高いプット買い

ダイアゴナルは、相場観によってオプションの組み合わせを使い分けます。それぞれの相場観と具体的なポジションを一覧にすると、上のようになります。

いずれのストラテジーも短期的には大きな値動きを想定せず、その後の上昇または下落の方向性を反映しています。

カレンダーと同様に時間価値の減少を味方につけられることに加えて相場観を反映できるのがダイアゴナルのメリットですが、その一方でポジションの構造が複雑になり、オプション同士の満期日が異なるため、ロールオーバーを含む満期管理が必要になります。

■ダイアゴナルの発注方法

①

②

③ -1

③ -2

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし、ストラテジー画面から「ダイアゴナル」を選択、詳細をオンにして、下段の「完了」をタップします。

ダイアゴナルでは、満期日の異なるオプションを取引します。そこで画面下部の囲み部分をタップして (①)、オプション同士の満期日の幅を設定します (②)。さらにダイアゴナルでは権利行使価格も異なるオプションを取引するため、次の画面では権利行使価格の組み合わせを選択します (③ -1)。

選択した値幅と異なる値幅で取引する場合は画面下部の囲みをタップして (③ -2)、値幅を設定します (④)。これから取引する内容を確認し、「買付」をタップします (⑤)。

④

⑤

■ダイアゴナルのレッグイン方法

⑥

⑦

⑧

⑨

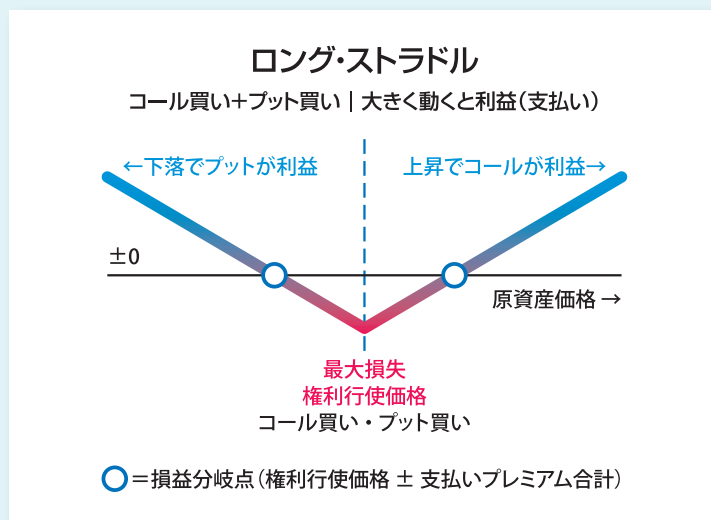
すでに保有しているオプションに新たなオプションを組み込む (レッグイン) することにより、ダイアゴナルを構築することができます。ここでは、シングルオプションでアップル株のコール・オプション買い単体で保有しているポジションに、同株のコール・オプション売りをレッグインしてダイアゴナルを構築します。

オプション口座の資産一覧画面から、オプションを追加 (レッグイン) したいポジションを選び (⑥)、詳細画面を表示します。現在のポジションを確認し、画面下部の 3 点アイコンをタップします (⑦)。次に「ストラテジーの構築」をタップし (⑧)、戦略の作成に進みます。「売付、Call でダイアゴナルを作成」と表示されていることを確認し、タップします (⑨)。表示されているオプションの一覧から、売付をするオプションを選択し、画面の指示に従って取引を完了させます。

ストラドル

■ストラテジーの概要と狙い

権利行使価格と満期日が同じコール・オプションとプット・オプションを同時に買う（もしくは売る）戦略のことを、ストラドルといいます。同条件でコールとプットの両方を同時に保有するため、中立的なストラテジーといえます。



ロング・ストラドルの満期日損益。同じ権利行使価格・満期日のコール・オプションとプット・オプションを同時に買い、約定時に両方のプレミアムを支払う。

満期日の原資産価格が上昇すればコールで、下落すればプットで利益が伸び、権利行使価格から大きく離れるほど利益が拡大する。

権利行使価格付近にとどまった場合は、支払ったプレミアム合計が最大損失となる。

ストラドルのうち権利行使価格と満期日が同じコール・オプションとプット・オプションを同時に買う戦略をロング・ストラドル、逆に権利行使価格と満期日が同じコール・オプションとプット・オプションを同時に売る戦略を、ショート・ストラドルといいます。

ロング・ストラドルでは同じ条件のコールとプットを両方買うため、満期日までに株価が大きく上昇すればコール・オプションで利益が伸び、大きく下落すればプット・オプションで利益が伸びます。値動きと反対側のオプションの損失は、支払ったプレミアムに限定されます。このように上昇・下落どちらの方向でも、動きが大きいほど利益が拡大するため、方向は読みにくいですが株価が大きく動くと思込んだ場合に有効なストラテジーです。

例えば、決算や各種経済指標の発表を控えている時、その他大きな材料が出そうな時など、ボラティリティが高くなる見通しの場合にはロング・ストラドルの有効性が高まります。

一方のショート・ストラドルでは同じ条件のコールとプットを両方売る戦略で、こちらは満期日までに株価があまり大きく動かないと思込んだ場合に有効です。しかし実際に急騰や暴落といった大きな値動きがあると損失が無限に拡大してしまうため、現時点ではウィブル証券アプリで注文をすることはできません。

■ロング・ストラドルの発注方法

①



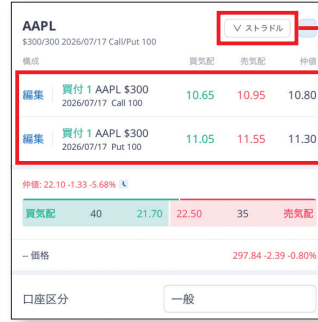
②



③



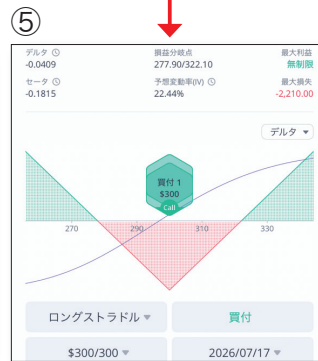
④ -1



④ -2



⑤



オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし、① ストラテジー画面から「ストラドル」を選択、②、詳細をオンにして②、下段の「完了」をタップします。

ストラドルでは権利行使価格と満期日が同じオプションの取引をします。「○○D」で満期日を選び、「行使価格」の欄に表示されている権利行使価格を選びます ③。

これから買い付けるコールとプットのオプションを確認し ④ -1)、「買付」をタップします ④ -2)。なお、画面上部にある「ストラドル」の部分をクリックすると、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます ⑤)。

■ロング・ストラドルの決済方法

⑥ -1



⑥ -2



⑥ -3



オプション口座の資産一覧画面で決済したいポジションをタップし、詳細画面を開きます ⑥ -1)。2つのオプションを同時決済する場合は、画面下部の「決済売」をタップします ⑥ -2)。

2つのオプションのうち1つだけを決済（レッグアウト）する場合は、対象オプションの右側にある「レッグアウト」をタップします ⑥ -3)。

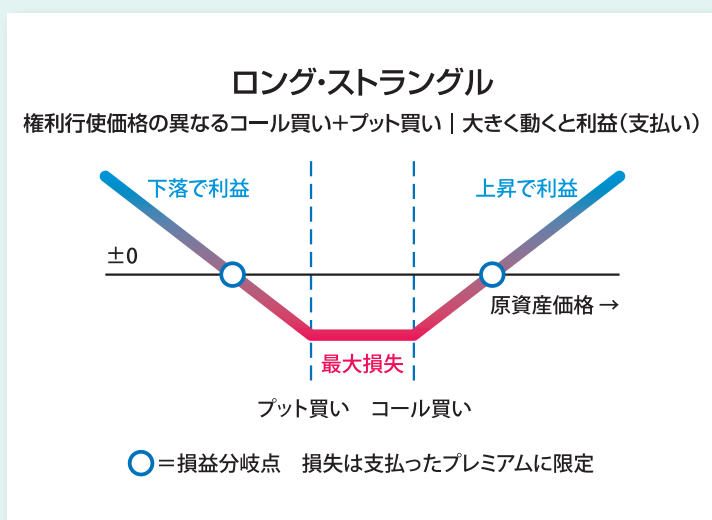
■ストラテジーの概要と狙い

満期日は同じですが権利行使価格が異なるコール・オプションとプット・オプションの両方を保有する戦略を、ストラングルといいます。

ストラングルには、ロングとショートの2タイプがあります。ロング・ストラングルでは、満期日が同じで権利行使価格が高いコール・オプションと、権利行使価格が低いプット・オプションを同枚数買います。

逆にショート・ストラングルでは満期日が同じで権利行使価格が高いコール・オプションと権利行使価格が低いプット・オプションを同枚数売ります。

なお、ストラドルとの対比では、同じ権利行使価格でコールとプットを組むストラドルに対し、ストラングルは権利行使価格を離して組む点に違いがあります。その結果として支払うプレミアムが安くなります。



ロング・ストラングルの満期日損益。同じ満期日で、権利行使価格が高いコールと低いプットをそれぞれ買う。株価が上下どちらかに大きく動くと、コールまたはプットで利益が拡大する。2つの権利行使価格の間にとどまると最大損失となるが、損失は支払ったプレミアムに限定される。

ロング・ストラングルでは、株価が満期日までの間に大きく上昇した場合はコール・オプション、そして大きく下落した場合はプット・オプションで利益が拡大します。

逆に株価が横ばいもしくは小幅な値動きに留まった場合であっても、損失は支払ったプレミアム分に限定されます。

ショート・ストラングルはその逆に、満期日までに株価が横ばい、もしくは小幅の値動きに留まった場合はプレミアムが利益となりますが、株価が大きく動いてしまった場合は損失が無限に拡大するリスクがあります。

そのため、ウィブル証券アプリでは、ショート・ストラングルの注文はできません。

■ロング・ストラングルの発注方法

①

②

③

④-1

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし、ストラテジー画面から「ストラングル」を選択、詳細をオンにして (①)、下段の「完了」をタップします。

ロング・ストラングルでは満期日が同じで権利行使価格が異なる2つのオプションを買い付けるため、次の画面で権利行使価格の組み合わせを選択します (②)。「OOD」で満期日を選び、「行使価格」の欄に表示されている権利行使価格から買い付けるオプションを選びます (③)。

これから買い付けるコールとプットのオプションを確認し、「買付」をタップします (④-1)。なお、画面上部にある「ストラングル」の部分をつタップすると (④-2)、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます (⑤)。

■ロング・ストラングルの決済方法

⑥

⑦-1

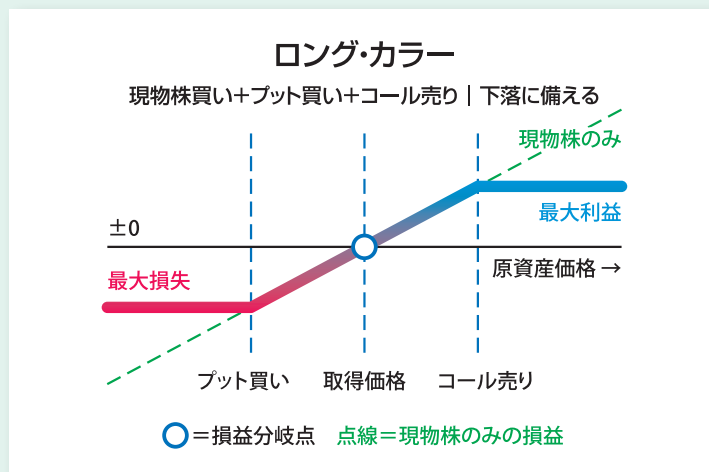
⑦-2

オプション口座の資産一覧画面で決済したいポジションをタップし (⑥)、詳細画面を開きます。2つのオプションを同時決済する場合は、画面下部の「決済売」をタップします (⑦-1)。

2つのオプションのうち1つだけを決済 (レッグアウト) する場合は、対象オプションの右側にある「レッグアウト」をタップします (⑦-2)。

■ストラテジーの概要と狙い

現物株と、同じ満期日のコール・オプションとプット・オプションを同時に取引する戦略を、カラーといいます。現物株における大きな損失を回避するために用いられる戦略ですが、利益と損失の両方が一定範囲に限定されます。保有している現物株、もしくはこれから購入する現物株取引に際して株価下落に備えるロング・カラーについて解説します。なお、現物株の空売りに際して株価上昇に備えるショート・カラーは現状では発注できません。



ロング・カラーの満期日損益。現物株の買いに、株価下落に備えるプットの買いと、上昇益を放棄する代わりにプレミアムを受け取るコールの売りを組み合わせる。株価が下落してもプット買いの権利行使価格で損失が止まり、上昇してもコール売りの権利行使価格で利益が頭打ちとなるため、損益が一定の範囲に収まる。緑色の点線は現物株のみを保有した場合の損益で、カラーが上下を切り取っていることを示す。

ロング・カラーでは、現物株を購入すると同時に、同じ銘柄のプット・オプションを買い、さらにコール・オプションを売ります。これによって現物株の株価下落に備えることができます。カバード・コールでは現物株とコール・オプションの売りを組み合わせますが、これだと株価の下落に対してヘッジがききません。そこでプット・オプションの買いを加えることで株価下落時の損失を限定します。

長期保有している現物株を売らずに株価の下落に備えたい場合や、すでに含み益が出ている現物株の利益を確保しておきたい場合などに有効です。

■ロング・カラーの発注方法

①

②

121D	2026/09/18 100	プット	ヘ
270/280	273.05	274.33	.. +0.06%
275/285	277.65	278.98	.. -0.36%
280/290	282.15	283.43	.. +0.14%
285/295	286.65	288.03	.. +0.01%
290/300	291.15	292.43	.. -0.10%
295/305	295.70	296.63	.. -0.05%
♀イン・ザ・マネー 株価296.97+1.13+0.38% ♀イン・ザ・マネー			
300/310	300.10	301.03	.. +0.24%
305/315	304.60	305.63	.. -0.30%

③

買付 100 AAPL	315.37	315.42	315.39	314.
買付 1 AAPL \$310 2026/08/21 Put 100	8.15	8.40	8.28	8.
売付 1 AAPL \$320 2026/08/21 Call 100	9.00	9.25	9.13	9.
仲値: 314.54 +0.04 +0.01%				
買気配	0	314.27	314.82	0
売気配				
AAPL 価格				314.86 -2.45 -0.77%

④

ロングカラー

買付

10

\$280/290

2026/09/18

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし、ストラテジー画面から「カラー」を選択、詳細をオンにして、下段の「完了」をタップします (①)。

ロング・カラーでは現物株の購入とプット・オプションの買い、コール・オプションの売りを同時に発注します。「○○D」で満期日を選び、「行使価格」の欄に表示されている権利行使価格の組み合わせを選びます(②)。これから取引する「現物株の買い+プット・オプションの買い+コール・オプションの売り」という組み合わせを確認し(③)、「買付」をタップします。なお、画面上部にある「カラー」の部分をクリックすると、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます(④)。

■ロング・カラーのログイン方法



すでに保有しているポジションに新たなオプションを加えることにより、カラーを組成することができます。ここでは、カバード・コールとしてすでに保有しているポジションにプット・オプションの買いを加えてロング・カラーを組成する手順を解説します。

オプション口座の資産一覧画面から、オプションを追加(ログイン)したいポジションを選び、詳細画面を表示します。現在のレッグ構成を確認し、画面下部の3点アイコンをタップします(⑤)。次に「ストラテジーの構築」をタップし(⑥)、戦略の作成に進みます。「買付、Putでカラーを作成」と表示されていることを確認し、タップします(⑦)。表示されているオプションの一覧から、買付をするオプションを選択し(⑧)、画面の指示に従って取引を完了させます。

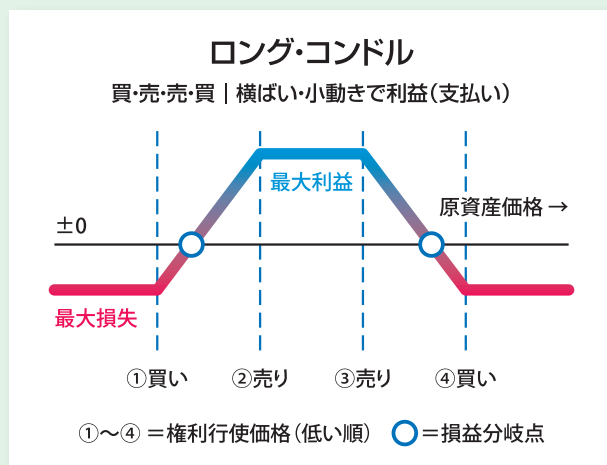
■ロング・カラーの決済方法



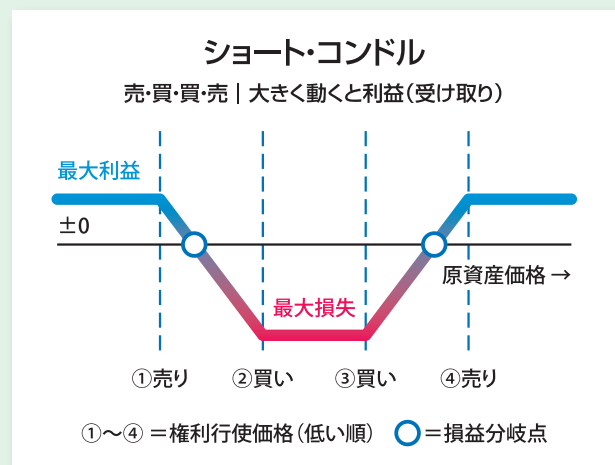
オプション口座の資産一覧画面から決済したいポジションをタップし、詳細画面を開きます(⑨)。ストラテジーの詳細画面で画面下部の「決済売」をタップし(⑩)、次の画面でこれから行う取引の内容を確認した上で(⑪-1)、「売付」をタップします(⑪-2)。

■ストラテジーの概要と狙い

コンドルは、権利行使価格が異なるコール、またはプットどちらか 4 つのオプションで構成される戦略です。「買・売・売・買」もしくは「売・買・買・売」のように、買いもしくは売りでもう一方のオプションをはさむような構成になっている点ではバタフライと似ていますが、コンドルは中央に 2 つの異なる権利行使価格を置きます。利益が出るレンジが広がる代わりに、最大利益は小さくなる戦略と考えることもできます。



ロング・コンドルの満期日損益。もっとも低い①ともっとも高い④の権利行使価格でオプションを買い、内側の②③で売って、約定時にプレミアム差額を支払う。満期日の原資産価格が②③の間に収まると最大利益に達し、①より下または④より上では損失となるが、損失は限定される。



ショート・コンドルの満期日損益。もっとも低い①ともっとも高い④の権利行使価格でオプションを売り、内側の②③で買って、約定時にプレミアム差額を受け取る。満期日の原資産価格が①より下または④より上に動くとき最大利益に達し、②③の間にとどまると損失となるが、損失は限定される。

ロング・コンドルでは、同じ満期日で権利行使価格が高いオプションと低いオプションを買います。そして同時に、この 2 つのオプションの権利行使価格の間に 2 つのオプションを売ります。権利行使価格が低い順に並べると「買・売・売・買」の順序となり、それぞれの比率は 1:1:1:1 です。

コンドルは最大利益と最大損失がどちらも限定されており、満期日の株価が内側 2 つのオプション権利行使価格の間にある場合に利益が最大になります。逆に満期日の株価がもっとも低い権利行使価格よりも下、もしくはもっとも高い権利行使価格よりも上になった場合は損失となりますが、ストラテジーの構成により損失は限定されます。つまり、ロング・コンドルは満期日までの株価が横ばい、もしくは小幅な値動きとなり、想定したレンジ内に収まると見込んだ時に有効なストラテジーです。

ショート・コンドルでは、同じ満期日で権利行使価格が高いオプションと低いオプションを売ります。そして同時に、この 2 つのオプションの権利行使価格の間に 2 つのオプションを買います。権利行使価格が低い順に並べると「売・買・買・売」の順序となり、それぞれの比率は 1:1:1:1 です。

ショート・コンドルでは満期日の株価がもっとも低い権利行使価格よりも下、もしくはもっとも高い権利行使価格よりも上になることで利益となります。逆に満期日の株価が内側 2 つの権利行使価格の間にある場合は損失が最大となりますが、ストラテジーの構成により損失は限定されます。つまり、ショート・コンドルは満期日までの株価が大きく上昇、もしくは下落すると見込んだ時に有効なストラテジーです。

■ロング・コンドルの発注方法

①

②

③ -1

③ -2

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし (①)、ストラテジー画面から「コンドル」を選択、詳細をオンにして、下段の「完了」をタップします (②)。ロング・コンドルでは満期日が同じの「買1:売1:売1:買1」で組成された4つのオプションを同時に取引します。「○○D」で満期日を選び、「行使価格」の欄に表示されている権利行使価格の組み合わせを選びます (③ -1)。

発注時に権利行使価格の幅を設定可能です。オプションチェーン画面右下部分をタップすることにより (③ -2)、発注したい権利行使価格の幅を選択できます。

これから取引する4つのオプションを確認し、「買付」をタップします (④)。なお、画面上部にある「コンドル」の部分の部分をタップすると、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます (⑤)。

④

⑤

■ロング・コンドルの決済方法

⑥

⑦

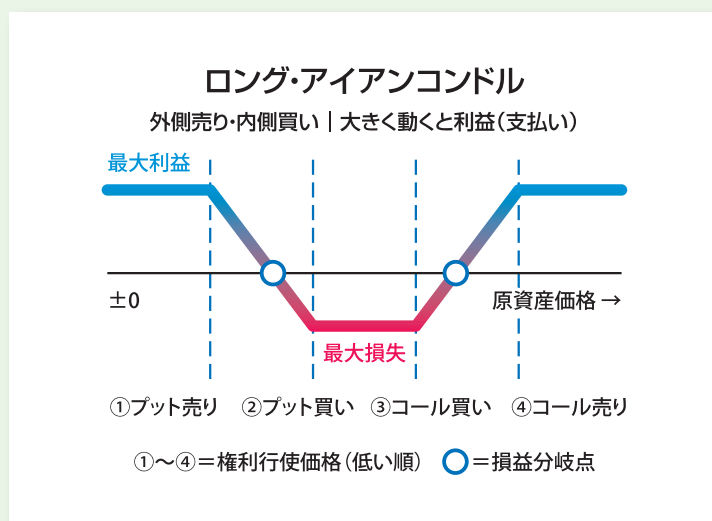
オプション口座の資産一覧画面から決済したいポジションをタップし、詳細画面を開きます (⑥)。これから決済するレッグ構成を確認し、「決済売」をタップします (⑦)。

※ショート・コンドルの発注および決済方法については「買1:売1:売1:買1」が「売1:買1:買1:売1」、「買付」の部分が「売付」となるなど、逆の操作になります。次ページのショート・アイアンコンドルの発注および決済方法も同様です。

アイアンコンドル

■ストラテジーの概要と狙い

2つのコール・オプションと2つのプット・オプション、それぞれ満期日は同じですが権利行使価格が異なる4つのオプションで構成する戦略を、アイアンコンドルといいます。構造が似たストラテジーにコンドルがありますが、コール・オプションもしくはプット・オプションだけで構成されるコンドルに対して、コールとプットの両方を組み合わせるのがアイアンコンドルの特徴です。



ロング・アイアンコンドルの満期日損益。権利行使価格が低い順にプットの売り・プットの買い・コールの買い・コールの売りを組み合わせ、約定時にプレミアム差額を支払う。満期日の原資産価格が外側2つの権利行使価格(①④)のさらに外まで大きく動くと最大利益に達し、②③の間にとどまると最大損失となるが、いずれも限定される。

さらにもう1つ、アイアンコンドルと似たストラテジーにアイアンバタフライがあります。こちらも4つのオプションで構成されますが、4つのオプションのうち中央の2つは権利行使価格が同じです。この点が、4つのオプションすべての権利行使価格が異なるアイアンコンドルとの違いです。

満期日までに株価が大きく上昇もしくは下落すると見込んだ場合に有効なロング・アイアンコンドルと、満期日までに株価が横ばいもしくは保有しているオプションの権利行使価格の中間付近で推移すると見込んだ場合に有効なショート・アイアンコンドルがあります。

ロング・アイアンコンドルでは、権利行使価格が低い順にプットの売り、プットの買い、コールの買い、コールの売りの取引を行います。例えば、テスラ株に対してロング・アイアンコンドルを組成する場合、「410ドルのプット売り、415ドルのプット買い、420ドルのコール買い、425ドルのコール売り」といったストラテジーを組成します。

ショート・アイアンコンドルは、ロングと逆の売りと買いで構成されます。権利行使価格の低い順にプットの買い、プットの売り、コールの売り、コールの買いの取引を行います。先ほどのテスラ株に例えると、「410ドルのプット買い、415ドルのプット売り、420ドルのコール売り、425ドルのコール買い」といった取引でショート・アイアンコンドルを組成できます。

■ロング・アイアンコンドルの発注方法

①

②

③ -1

③ -2

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし(①)、ストラテジー画面から「アイアンコンドル」を選択、詳細をオンにして(②)、下段の「完了」をタップします。

ロング・アイアンコンドル

ではプット・オプションの売り、プット・オプションの買い、コール・オプションの買い、コール・オプションの売りを同時に発注します。「〇〇D」で満期日を選び、「行使価格」の欄に表示されている権利行使価格の組み合わせを選びます(③-1)。なお、画面下部の「10.0」となっている部分をタップすると(③-2)、ロング・アイアンコンドルを組成するオプションの値幅を設定できます(④)。

次に、これから取引する4つのオプション取引内容を確認し、「買付」をタップします(⑤)。なお、画面上部にある「アイアンコンドル」の部分のタップすると、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます(⑥)。

■ロング・アイアンコンドルの決済方法

⑦

⑧

⑨

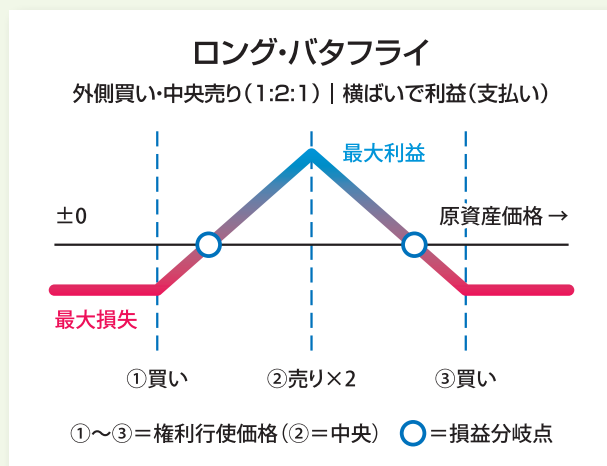
オプション口座の資産一覧画面から決済したいポジションをタップし(⑦)、詳細画面を開きます。

ストラテジーの詳細画面で画面下部の「決済売」をタップし(⑧)、次の画面でこれから行う取引の内容を確認した上で「売付」をタップします(⑨)。

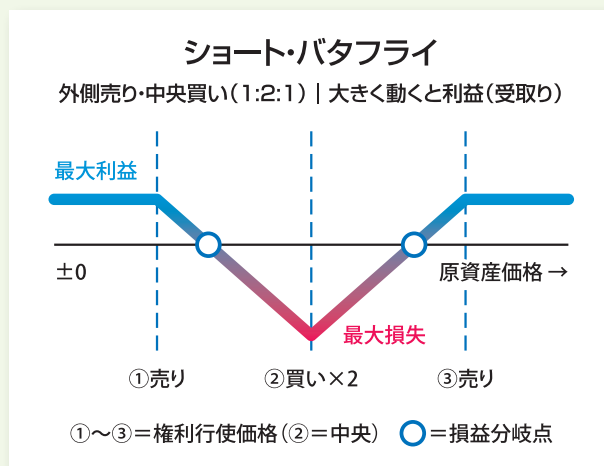
■ストラテジーの概要と狙い

満期日が同じで権利行使価格が異なるオプションを同枚数売買し、その中間に、両サイドのオプションと同枚数のオプションを反対方向に売買する戦略を、バタフライといいます。比率が 1:2:1 となる 3 つのオプションで構成され、コールとプットのどちらでもストラテジーの組成が可能です。

満期日までの株価変動が小さいと見込んだ場合に有効なロング・バタフライと、満期日までの株価変動が大きいと見込んだ場合に有効なショート・バタフライがあります。なお、バタフライがコールのみ、あるいはプットのみで組むのに対し、アイアンバタフライはコールとプットを組み合わせます。



ロング・バタフライの満期日損益。権利行使価格が低いオプションと高いオプションを 1 枚ずつ買い、中央の権利行使価格で 2 枚売る (1:2:1)。株価が中央付近にとどまると最大利益となり、想定レンジから外れると損失となるが、損失は(支払ったプレミアム－受け取ったプレミアム)に限定される。



ショート・バタフライの満期日損益。権利行使価格が低いオプションと高いオプションを 1 枚ずつ売り、中央の権利行使価格で 2 枚買う (1:2:1)。株価が上下どちらかに大きく動くと利益となり、中央付近にとどまると最大損失となるが、損失は限定される。

ロング・バタフライでは、同じ満期日で権利行使価格が高いオプションと低いオプションを買います。そして同時に、この 2 つのオプションの権利行使価格の中間に倍の枚数でオプションを売ります。具体的には、買:売:買の比率が 1:2:1 になるようにオプションを組み合わせます。

満期日までの株価変動が小さく、買い付けた 2 つのオプションの権利行使価格の間に収まり、中央に近いほど利益は大きくなります。逆に株価が想定したレンジから外れても、損失は(支払ったプレミアム－受け取ったプレミアム)分に限定されます。

つまり、ロング・バタフライは満期日までの株価が横ばい、もしくは小幅な値動きとなり、想定したレンジ内に収まると見込んだ時に有効なストラテジーです。

ショート・バタフライでは、同じ満期日で権利行使価格が高いオプションと低いオプションを同枚数売ります。そして同時に、この 2 つのオプションの権利行使価格の中間に倍の枚数でオプションを買います。それぞれの比率は、ロング・バタフライと同様に 1:2:1 です。満期日までの株価変動が大きくなり、売り付けた 2 つのオプションの権利行使価格レンジよりも上、もしくは下になった場合に利益となります。逆に株価変動が小さかった場合は損失が発生しますが、損失額はストラテジー全体の構造により限定されます。つまり、ショート・バタフライは満期日までの株価変動が大きくなると見込んだ場合に有効なストラテジーです。

■ロング・バタフライの発注方法

①

②

③ -1

③ -2

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし (①)、ストラテジー画面から「バタフライ」を選択、詳細をオンにして (②)、下段の「完了」をタップします。

ロング・バタフライでは満

期日が同じで「買1:売2:買1」で組成された3つのオプションを同時に取引します。「〇〇D」で満期日を選び、「行使価格」の欄に表示されている権利行使価格の組み合わせを選びます (③-1)。

発注時に権利行使価格の幅を設定可能です。オプションチェーン画面右下部分をタップすることにより (③-2)、発注したい権利行使価格の幅を選択できます (④)。

これから取引する3つのオプションを確認し、「買付」をタップします。なお、画面上部にある「バタフライ」の部分をタップすると (⑤)、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます (⑥)。

④

⑤

⑥

■ロング・バタフライの決済方法

オプション口座の資産一覧画面から決済したいポジションをタップし、詳細画面を開きます (⑦)。

レッグ構成の部分をタップし (⑧)、次の画面で決済注文の内容 (保有ポジションとは反対売買になっています) を確認した上で「売付」をタップします (⑨)。

⑦

⑧

⑨

※ショート・バタフライの発注および決済方法については「買1:売2:買1」が「売1:買2:売1」、「買付」の部分が「売付」となるなど、逆の操作になります。次のページのショート・アイアンバタフライの発注および決済方法も同様です。

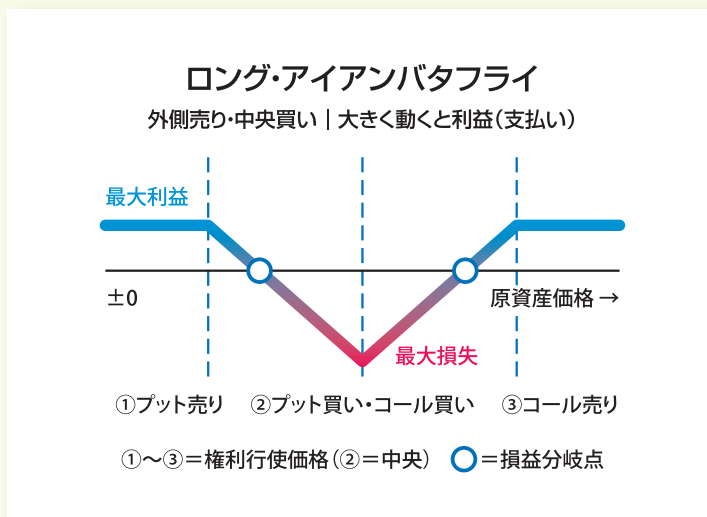
アイアンバタフライ

■ストラテジーの概要と狙い

権利行使価格が異なる2つのコール・オプションと2つのプット・オプションで構成し、リスクを限定しながら安定的な利益を狙うのがアイアンバタフライです。

構造が似たストラテジーにバタフライがありますが、コール・オプションもしくはプット・オプションだけで構成されるバタフライに対して、コールとプットの両方を組み合わせるのがアイアンバタフライの特徴です。

満期日までに株価が大きく上昇もしくは下落すると見込んだ場合に有効なロング・アイアンバタフライと、満期日までに株価が横ばいもしくは保有しているオプションの権利行使価格の中間付近で推移すると見込んだ場合に有効なショート・アイアンバタフライがあります。



ロング・アイアンバタフライの満期日損益。権利行使価格が低い順にプットの売り・プットの買い・コールの買い・コールの売りを組み合わせ（中央のプット買いとコール買いは同じ権利行使価格）、約定時にプレミアム差額を支払う。満期日の原資産価格が中央の権利行使価格から上下どちらかに大きく離れると最大利益に達し、中央付近にとどまると最大損失となるが、いずれも限定される。

ロング・アイアンバタフライでは、同じ満期日で、3種類の権利行使価格のオプションを保有します。権利行使価格が低い順にプットの売り、プットの買い、コールの買い、コールの売りの取引を行います。この中間にあたるプット買いとコール買いの権利行使価格は同額です。

例えば、テスラ株に対してロング・アイアンバタフライを組成する場合、「410ドルのプット売り、415ドルのプット買い、415ドルのコール買い、420ドルのコール売り」といったストラテジーをセットにします。

ロング・アイアンバタフライを組むと、最大利益と最大損失がいずれも限定されます。

ショート・アイアンバタフライは、ロングと逆のオプションで構成されます。満期日が同じ2つのコール・オプションと2つのプット・オプションで構成される点では同じですが、権利行使価格が低い順にプットの買い、プットの売り、コールの売り、コールの買いの取引を行います。そして、中間にあたるプット売りとコール売りの権利行使価格は同じです。

先ほどのテスラ株に例えると、「410ドルのプット買い、415ドルのプット売り、415ドルのコール売り、420ドルのコール買い」といった取引でショート・アイアンバタフライを組成できます。ショート・アイアンバタフライも同様に、最大利益と最大損失がともに限定されます。

■ロング・アイアンバタフライの発注方法

①

②

③ -1

③ -2

オプションチェーンの画面で「シングルオプション」をタップし(①)、ストラテジー画面から「アイアンバタフライ」を選択、詳細をオンにして(②)、下段の「完了」をタップします。

ロング・アイアンバタフライ

ではプット・オプションの売り、プット・オプションの買い、コール・オプションの買い、コール・オプションの売りを同時に発注します。「○○D」で満期日を選び、「行使価格」の欄に表示されている権利行使価格の組み合わせを選びます(③-1)。なお、画面下部の「5.0」となっている部分をタップすると(③-2)、ロング・アイアンバタフライを組成するオプションの値幅を設定できます(④)。

次に、これから取引する4つのオプション取引内容を確認し(⑤)、「買付」をタップします。なお、画面上部にある「アイアンバタフライ」の部分をクリックすると、これから保有するポジションの詳細情報が表示されます(⑥)。

④

⑤

⑥

■ロング・アイアンバタフライの決済方法

⑦

⑧

⑨

オプション口座の資産一覧画面から決済したいポジションをタップし(⑦)、詳細画面を開きます。

ストラテジーの詳細画面で画面下部の「決済売」をタップし(⑧)、次の画面でこれから行う取引の内容を確認した上で「売付」をタップします(⑨)。

必要証拠金

■ オプション取引の証拠金とは

売り建てのオプション取引をする際には、証拠金が必要になります。売り建てのオプションが満期を迎えて買い方が権利行使した場合、売り方は現物株の受け渡し（コール売り）や買い取り（プット売り）に応じる義務があるからです。そのため、売り建てのオプション取引をする際には対象となる現物株、もしくはその現物株に相当する資金を証拠金として口座内に用意する必要があります。なお、価格変動による追証は発生しません。

■ キャッシュ・セキュアード・プットの必要証拠金

「キャッシュ・セキュアード・プット」は、プット・オプションを売ってプレミアムを受け取りつつ、株価下落時には割安での株式購入を狙う戦略です。

この場合、オプションが満期を迎えて買い方が権利行使をすると現物株を購入する必要があるため、あらかじめ購入に必要な資金を用意します。オプション 1 枚につき 100 株が単位となるため、権利行使価格 × 100 株分の資金が必要証拠金となります。

(例) 権利行使価格が \$50 の場合、 $\$50 \times 100 \text{ 株分} = \$5,000 \rightarrow$ 必要証拠金

■ カバードコールのコール売りでは現物株が必要

「カバードコール」ではコール・オプションを売り建てするため、買い方が権利行使した場合には現物株の売却に応じる必要があります。そのため、カバードコールでコール・オプションの売り建てを行う際には、取引するオプション 1 枚あたり 100 株の現物株が必要となります。

■ スプレッド取引の場合は証拠金の差額のみで売買可

複数のオプション取引を組み合わせるストラテジー取引のうち、買い建てと売り建ての両方を同時に発注することをスプレッド取引といいます。ウィブル証券では各オプションの権利行使価格の差額のみを証拠金として取引することが可能です。

例えば、アップル株において「320 ドルのプット売り」と「310 ドルのプット買い」を組み合わせると 1 枚分の（ブルプット）ショート・プット・バーティカル取引をする場合、必要な証拠金は、2 つのオプションの権利行使価格の差額分です。

(例) 320 ドルのプット売り と 310 ドルのプット買いの場合
 $\$320 - \$310 \times 100 \text{ 株分} = \$1,000 \rightarrow$ 必要証拠金

オプション取引の実践的知識 ロールオーバー

ロールオーバーとは、現在保有しているオプションを決済して、新たな条件のオプションに乗り換えることです。ロールオーバーには、満期日を延長する「ロールアウト」、権利行使価格を変更する「ロールアップ」「ロールダウン」などの種類があります。

ロールオーバーは自動的に行われないため、目的や戦略に応じて、投資家自身がローリングオーダーの操作をする必要があります。

相場観は変わらないものの、保有しているオプションの満期日が近づいてきた場合に、オプションの満期日をより遠い期日に変更するにはロールオーバーが有効です。

例えば、コール・オプションを買い建てしている時に株価が上昇した場合、そのオプションを決済することで利益を確定できますが、さらに株価が上昇すると見込むのであればロールオーバーで利益拡大を狙うこともできます。

また、ストラテジーを構成する一部のレッグ（オプション）だけをロールオーバーすることにより、現状の利益を確保しつつ一部のオプションでさらなる利益を狙うといった戦略が可能になります。

例えば、カバードコールで現物株とコール・オプションの売建をしている場合、株価が上昇するとコール売りが不利になります。この場合、コール・オプションを一旦買い戻し、さらに高い権利行使価格のコール売りにロールオーバーします。この取引により、株価上昇による含み益を維持しつつさらなる上昇余地を狙うことができます。



保有しているオプション、もしくはストラテジーの詳細画面を開き、「決済売」をタップして「ローリングオーダーの作成」をタップします (①)。

この画面ではパーティカルでレッグを組んでいるポジションに対するロールオーバーです。そのため、次の画面ではパーティカルのポジション全体をロールオーバーするのか、一部のレッグ（オプション）をロールオーバーするのかを選択します。ポジション全体をロールオーバーする場合は上段の「パーティカル・スプレッドをロールする」をタップ (②)、次の画面でオプションチェーンから新たに取引したいオプションを選択します (③)。

一部のオプションだけをロールオーバーする場合は、下段の「1つのレッグをロールする」をタップし (②)、ロールオーバーしたいレッグ（オプション）を選択して操作を進めます (④)。

Moneybull について

Moneybull とは

Moneybull は、ウィブル証券が提供する資産運用サービスです。ウィブル証券の総合口座で保管している米ドルが外貨建て MMF で自動運用され、2025 年 4 月末時点での運用実績は 3.84%(※) です。

多くの投資家にとって、証券会社の口座に保有している米ドルは運用されているわけではなく、ほとんど金利がつかない状態で「放置」されているのが実情です。

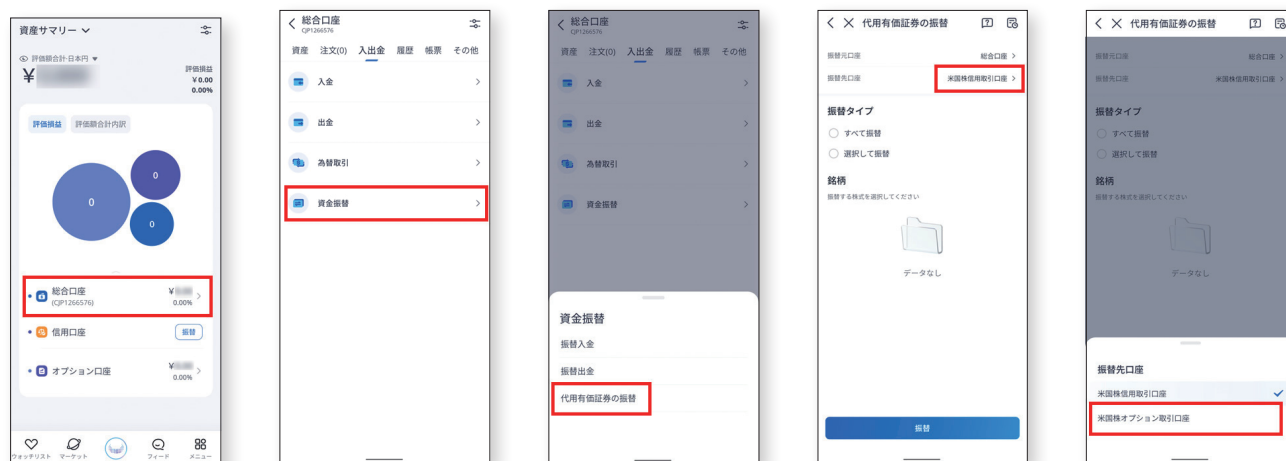
口座に「置いてあるだけ」の余剰資金に 3% を超える利回りが得られる点が大きなメリットで、この資金はいつでも米国株や米国 ETF の購入代金としても利用可能です。

※月間平均年換算利回りの実績は過去の税引前のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

Moneybull のオプション口座への振替について

Moneybull は、総合口座で保有している米ドル資金を自動運用するサービスです。外貨建て MMF で運用され、いつでも自由に米国株や米国 ETF の買い付け資金として利用可能です。

さらに口座間の振替をすることによって、Moneybull の資金をオプション取引の証拠金として利用することもできます。



Moneybull の資金をオプション口座に振り替えるには、ウィブル証券アプリのメイン画面で「総合口座」をタップし、次に表示される総合口座の管理画面上部にある「入出金」をタップします。

次に入出金の画面で「資金振替」をタップし、表示される選択画面で「代用有価証券の振替」をタップします。振替先口座が「米国株信用取引口座」になっている場合は、ここをタップして「米国株オプション取引口座」に変更します。

最後に振替をしたい金額を入力し、最下部にある「確認」をタップして完了です。

※振替の際に入力された Moneybull の金額は、掛け目率 98% で自動計算された後の金額になります。

Moneybull の注意点

Moneybull の資金は振替が必要

Moneybull は、総合口座で保有している米ドル資金が自動的に運用されるサービスです。実際には外貨 MMF で運用されていますが、オプション口座へ振替をすることで証拠金などにご利用可能です。

ただし、オプション口座での証拠金としてご利用になるためには、資金の振替が必要です。P28 の解説に従って資金を総合口座からオプション口座に振替をした上で、オプション取引にご利用ください。

資金の優先順位

Moneybull からオプション口座へ振替をした資金は、代用有価証券として評価され、一定の掛目を反映した金額が証拠金や買付余力として利用されます。

この資金は、以下の優先順位で利用されます。

① 証拠金

② 買付余力

オプションの証拠金が優先されるため、現物株の買付を行う場合はオプション取引に必要な証拠金を差し引いた金額が買付余力となります。

オプションの売建てをすると、プレミアム収入を受け取る代わりに権利を行使された場合に備えて証拠金が必要となります。オプションの売建てを含むストラテジー取引（スプレッド取引など）をする際には、売建てに必要な証拠金を差し引いた金額が、新規取引に利用できる余力となります。

ウィブル証券でオプション取引をするメリット

01

満期日が近くなってもオプションの証拠金は固定

多くの証券会社では、オプション取引の証拠金を原資産の価格変動リスクに合わせて日々変動する計算方式が採用されています。満期日が近くなると、ガンマやセータなどの影響によりオプション価値（プレミアム）が大きく変動しやすくなります。それに伴い、必要証拠金が増える場合がありますが、ウィブル証券では満期日が近くなっても原則としてポジション建玉時に算出された証拠金が適用されます。

これにより、満期日直前に相場が荒れることがあっても資金計画が狂いにくく、また証拠金が増えることによる追加資金負担のリスクを抑えやすくなります。

02

証拠金として利用中も運用が継続

ウィブル証券の Moneybull は資金の振替をすることにより、いつでもオプション取引の証拠金として利用可能です。ポジション保有中も Moneybull での運用が継続され、その評価額を証拠金として利用できます。これにより、資金がより効率良く運用されます。

キャッシュ・セキュアード・プットでは、現物株購入の資金を証拠金にする必要がありますが、一般的な証券口座では証拠金として拘束された資金から十分な運用収益を得られないこともあります。

ウィブル証券では証拠金についても Moneybull として運用されるため、オプションのプレミアム収入に加えて Moneybull による運用収益も期待できます。

03

資金管理もシームレス

Moneybull は総合口座で保有している米ドル資金を外貨 MMF で運用するサービスです。一般的には、外貨 MMF で運用している資金をオプション取引に利用する場合、一度解約して現金化したうえで振り替える必要があります。

ウィブル証券では、Moneybull を代用有価証券としてオプション口座へ振り替えることで、運用を継続しながらオプション取引の証拠金として利用できます。また、決済時に必要となる関連処理も自動化され、シームレスな資金管理が実現します。

よくあるご質問と回答

Q オプション取引の「レッグ」とは何ですか？

複数のオプションで組成されるポジションにおいて、そのポジションを構成する個々のポジションをレッグといいます。保有しているポジションに新たなオプションの建玉を追加することをレッグイン、逆に保有中の組成されたポジションから一部のレッグを決済することをレッグアウトといいます。

Q オプションを売建てた場合、権利行使に必要な現物株や現金はいつまでに用意すればいいですか？

プット・オプションを売建てた場合（キャッシュ・セキュアード・プット）、満期日になると買い手に権利行使される可能性があります。この際に必要な株式の購入資金は、満期日当日の大引け 35 分前までに用意する必要があります。また、コール・オプションを売建てた場合（カバードコール）は満期日当日の大引け 35 分前までに必要な現物株を保有しておく必要があります。

Q 同じオプションを同日に複数回取引することはできますか？

はい、当日中であっても同一のオプションを複数回取引することができます。

Q ストラテジー取引を含むオプション取引で売建てをする際の注意点を教えてください。

売建てをすると、買い手によって権利行使される可能性があります。コール・オプションを売建てた場合（カバードコール）は現物株を引き渡す義務が、プット・オプションを売建てた場合（キャッシュ・セキュアード・プット）は株式を購入する義務が、それぞれ生じます。

ただし、必要な資金や証拠金はストラテジーの種類によって異なります。キャッシュ・セキュアード・プットやカバードコールでは現金や現物株が必要となりますが、ストラテジーによっては最大損失額が限定されます。

Q オプション取引のネイキッド・ショート注文は可能ですか？

ネイキッド・ショートは損失が無限に拡大、もしくは限定されていても金額が大きくなるリスクがあるため、投資家保護の観点からウィブル証券ではお受けしておりません。

複数のオプションを組み合わせるストラテジー取引を行うことにより、リスクを限定した上でショート・オプションを組み合わせたポジションの保有が可能です。

Q オプション取引で追証（追加証拠金）は発生しますか？

ウィブル証券のオプション取引で売建てをする場合、権利行使された場合に備えて必要な資産をあらかじめ差し入れる必要があります。通常、価格変動による追証が発生することはありません。

Q Moneybull の資金をオプション口座で利用できますか？

はい、ご利用可能です。総合口座の資金が自動的に Moneybull で運用されている場合、オプション口座で利用したい資金を代用有価証券に振り替える必要があります。この振替においては掛け目率 98% に自動計算された金額が反映されます。

Moneybull の資金をオプション口座に振り替える方法については P28 をご参照ください。

米国株オプション取引なら ウィブル証券

取引コスト	1 枚あたり 0.6 ドル（税込） 1 注文あたりの最低手数料 2.18 ドル
取扱銘柄数	約 4,300 銘柄
米国株価指数 オプション	S&P500、VIX 指数、ダウ平均、ナスダック 100 指数 など多数
年齢制限	18 歳以上（上限なし）
注文方法	指値、成行、逆指値（成行、指値）の各注文 トレールストップ注文 セット注文（IFD + OCO）
デモ取引	リアルタイムデータ、実際の取引環境と同じオプション チェーン、分析ツールなどを利用可能

※ 2026 年 3 月 2 日時点の情報になります。

ウィブル証券クライアントサービス

口座開設やご登録内容の変更など各種手続き、
各種お取引やサービス、アプリ操作方法などについてご案内いたします。



お電話でのお問い合わせ

(電話番号)

0120-560-736

受付時間 / 平日9:00～18:00



メールでのお問い合わせ

(Eメール)

clientservices@webull.co.jp

24時間365日受付

■ディスクレマー

本書に含まれる内容はお取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、金融商品取引を行うに際しての投資助言、推奨、または勧誘を構成するものではありません。また、本書の情報については万全を期しておりますが、その情報の正確性、完全性について保証するものではありません。万一本書で提供される情報に基づき被った被害について当社は一切責任を負わないものとします。

すべての投資商品にはリスクが含まれています。投資商品の価値およびそこからの収益は上昇または下落することがあり、その投資資金の一部または全部を失う可能性があります。また、信用取引・オプション取引・先物取引の利用においては、委託保証金・証拠金の差し入れが必要となり、価格変動等によっては差し入れた委託保証金・証拠金以上の損失が生ずる恐れがあります。

本書は、一般的な情報提供を目的としており、個々のお客様のニーズ、投資目的および特定の財務状況を考慮していません。

本書で示される見解は作成時点での市場データおよび予測をもとに構成されておりますため、今後の経済動向や市場環境の変化、さらに金融取引手法の多様化に伴う変化などに対応し、予告なく変更される場合があります。

本書に関するすべての著作権は、当社に帰属します。当社の事前の承諾のない本書の内容の全部または一部の使用（引用、複製、転載、転記等）を禁じます。

また、各取扱商品等は価格の変動等によって損失が生じる恐れがあります。お取引にあたっては、取引約款および契約締結前交付書面等の書面をあらかじめお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、手数料およびリスクの存在等を十分にご理解のうえ、ご自身の判断と責任にてお取引くださいますようお願い申し上げます。

当社の各取扱商品等をお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。手数料等については、以下のページでご確認ください。

<https://www.webull.co.jp/pricing>



商号：ウィブル証券株式会社
金融商品取引業者登録番号：関東財務局長(金商)第48号
加入協会：日本証券業協会